

ゆずりは通信

第27号 平成27年10月30日(隔月発行)

発行：ゆずりはの会事務局

電話：0565-35-7182

Eメール：takekaki@hm8.aitai.ne.jp

ホームページ：

<http://www.hm9.aitai.ne.jp/~warabino/>

平成27年4月定例会のメモ

4月14日(火) 午後7時～ 福祉センター 34会議室 13人が参加

* 花本町の地名の由来・歴史そして匂い桜

本多さんの説明を聞きながら、手作りの桜茶をいただきました。

* 長谷川式認知症スケール(HDS-R)の内容

正式な診断ではなく、補助的な検査であるが、ひとつの目安である。

* 「家の墓には入らない」

「ラジオ深夜便」の本に掲載された村田幸子さんの文章

家制度が廃止されたが、墓などは、成り行きに任せられており、永代供養墓などのように様々な試みが行われている。

* シルバー川柳

菅沼先生の紹介で、30首余りが記載されている。

「そうそう」「なるほど」など、ニヤッとしたり、うなづくことが多い。

* 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

地域福祉計画・地域福祉活動計画

パブリックコメントを提出したが、そのフィードバックがきちんとされない。

コメントをする気がしなくなる。

* 引きこもり者

障がい者に関しては、企業が一定の人数を採用する義務があるように、引きこもり者についても同じように、一定の人数を雇うようにならないか。

ひきこもり者は、なにか糸口があれば、社会に出て行ける。周囲からの支援が助けとなる。

企業が受け入れ体制、例えば、短い時間だけ働くタイムシェアリングとか、従業員への啓蒙などを行ってくれるようになると良い。

* こども向けの工作教室

夏(7月)に開催している、地域の工作教室について、

今年の作品の一部を紹介

ゆずりはの会 6月定例会のメモ

6月9日(火) 午後7時～ 福祉センター 34会議室 10人が参加

話題は以下

* 移動スーパー「とくし丸」・・・ 林さんの紹介

約 300 点の商品を、軽トラックに載せ、予約されている家に行き、品物を販売する。価格は、一品について定価プラス 10 円。週に2回の訪問
「やまのぶ」が実施しており、今は梅坪店から、8kmの範囲。
買い物地獄解消の一つのやり方

* スターリングエンジンの紹介と模型の運転・・・ 大間知さん

密閉された空間内にある気体を、加熱、冷却によって膨張・収縮させ、出力を取り出す仕組みを持ったエンジンで、200年前にスコットランドで発明された。その後自動車などの内燃機関に押されて下火になっていたが、近年、外燃機関である特徴が再評価されつつある。バイオマス燃料、排熱利用、太陽熱などで運転できる点が見直されている。

* 名古屋市の南生協病院・・・ 渡辺さん

テレビ番組「ガイアの夜明け」で放送。

会員数 7 万人の医療生協が建てた病院で、福祉施設も併設されている。地域住民に開かれた施設となっており、今後の病院・福祉施設のあるべき姿を提案している。

崇化館地区民生児童委員が視察研修で訪れるのに先立ち、下見してきて報告。

* 在宅医療普及へ4者連携・・・ 林さん

中日新聞の記事

豊田市、藤田保健衛生大、豊田加茂医師会、豊田地域医療センターが、豊田市一体で在宅医療を普及させることを確認し合った。在宅医療を担当する医療機関が、他の地域に比べるとまだ少なく十分とは言えない状況が、改善されることを期待。

* ホームホスピス みよしの家・・・ 竹内公子

あいちホスピス研究会公開講座の報告

ホスピスの需要は増えているが、施設の増設は追いついていない。民家を改造して、5 人の患者を受け入れるホームホスピスを立ち上げた。愛知県では、第1号である。

入居費用は公的なホスピスと同じ程度で月に 18 万円位。

ゆずりはの会 7 月定例会のメモ

7 月 14 日(火) 午後 7 時～ 福祉センター 34 会議室 11 人が参加

* ホームホスピス みよしの家 の見学

①先月の定例会で紹介された「みよしの家」を見学する機会をもちました。

紹介された内容は、ホスピスの需要は増えているが、施設の増設は追いついていない。民家を改造して、5 人の患者を受け入れるホームホスピスを立ち上げた。愛知県では、第1号である。入居費用は公的なホスピスと同じ程度で月に 18 万円位、でした。

②介護施設と地域を結ぶ市民の会(山下律子)の6～7人、トヨタ記念病院の3人、ゆずりはの会 の5人 と大勢で押しかけました。

③久野さんは、自分が作りたいという施設への思いが強く、経営の話が後からついてきている感じで、不安があります。まだ、ホスピスとして受け入れはされていません。

- ④山下さんによると、みよし市は、特養などが多くあり入居しやすいし、費用も安いので、その中での立ち上げは難しい、とのこと。記念病院の方が参加したので、いくらかでも支援につながれば良いと思いました。

* あいちホスピス研究会の公開講座に参加して … 竹内一良さん

- ①ホスピスで生まれる「いのち」を語る

細井順：近江八幡市のヴォーリス記念病院

- ②ホスピス希望館：

患者と医者という壁を取り払ってしまい、傍にいてともに過ごすようなホスピス運営を目指している。キリスト者としての考え方、がん患者でもあった体験が強く出ている。

- ③一度見学したいと思いました。

* 和紙ごとプロジェクト…安齋さん

- ①市民発！まちづくりシン展事業の一つに選ばれた。

地元豊田市の伝統産業である小原和紙を素材に、親しみやすく実用的なクラフト作品を制作し、市内外で展示販売する。

- ②ダウン症のお子さんとその家族の会：Linkの子どもたちの将来の居場所と活動を作る事業。誰もが自分の能力を開花させ将来に希望と生きがいの持てる社会を目指す。

* あいちホスピス研究会の公開講座(6/28)… 釘宮さん

「死に写るいのち」… 野の花診療所 院長 徳永進

- ① ホスピスケアのある19床の診療所を、鳥取市で開院

- ② 診療所での臨床の現場を飄々として語ったが、その中に命についての深い洞察が含まれている。

- ③ 在宅で死ぬことが、美化されて語られるが、それほど簡単ではない。

- ④ 患者が変化していったこそ、真のコミュニケーションができたと言える。

- ⑤ 徳永さんの最近の著書

「在宅ホスピスノート」、「野の花あったか話」

* 本の紹介…釘宮さん

「ユマニチュード入門」 イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ共著

認知症のケアで、新しい技法として話題になっている

* 戦争のこと…本多さん

- ① 戦争当時、周囲にいた優秀な先輩がたくさん死んでいった。彼らが存命だったなら、良い社会を作ってくれたら。

- ② 新しい憲法草案が公開されたとき、学校などで、皆で一生懸命に勉強した。

* 豊田市地域福祉計画 … 林さん

パブリックコメントを出せと勧めるが、出した人に対して、あなたの意見は、「こういうふうに反映させた、とか。あるいは採用しなかった」、とかフィードバックを戻すべきである。ナシのつ

ぶて ある。

ゆずりはの会 10月定例会

10月13日(火)午後7時～ 福祉センター34会議室 10人が参加

- * あいちホスピス研究会 公開講座 第5回 平成27年7月19日
「大切なことばの伝え方」 永田和宏氏
京都産業大学生命科学部、教授、歌人

.. 河野さんが説明

歌人である裕子さんとともに生きてきた。お互いが交わした相聞歌は500首に上る。お互いに思いを伝えあうことに優れた2人であった、そうだと思っていた。終わりの10年間は裕子さんが、がんを発病し、心が荒れて、お互いの意思疎通に困難な時もあった。そうした経験から、言葉で気持ちを伝えることのむずかしさ、奥深さについて、いくつかの短歌を紹介しながら、話された。

- * 介護費の自己負担 .. 林さん

今年の8月から、一部の人について、介護費の自己負担が増加した。貯金が1000万円以上あると、介護サービス自己負担金、食費、部屋代などの月々の負担額が、約5万円から12万円に跳ね上がる(一つの例です)。介護の総費用が増加する中でお金に余裕のある人に応分の負担をしてもらおうとの考えで、筋は通っているが、一部の人にはつらい制度変更である。

- * 介護保険の状況 .. 栗山さん

介護費の自己負担が1割から2割に増加したことで、介護認定度を軽いほうに下げしてほしいという人も現れてきている。

介護報酬が下がったことで、介護施設を廃止する、あるいは兼業を考える業者も出てきた。こうした中で、普通の人を活用することにより、介護費用を下げた乗り切ろうという施策が進められようとしている。実際のところどうなのか、専門家をお招きしてお聞きする。

次回10月定例会に、基幹型包括支援センターの方をお願いして、お話いただく予定。

- * 送骨 .. 林さん

遺骨を納める墓がない、身寄りがない人が利用する。生前に依頼して、一定の費用を前払いしておくと、ユーパックで、しかるべき寺へ送ってくれ、そこで供養してくれる。

いろいろな形の終い方が出てきている。

- * ミライの和紙ごとフェスタ .. 安齋さん

10月3日(土)10時～15時産業文化センターで開催される。障がいのある人たちの活動。小原和紙を使って作品を作るブースを出す。障がい者のために特別に企画された行事ではなく、普通のフェスタに参加する。どうかお出かけください。